

---

## 1 口県民制度

---

貴方の大切な1枚を福岡の街に！！

福岡を貴方の第2の故郷に！！

最近梅雨の時期になると、「線状降水帯」という言葉を良く耳にします  
線状降水帯とは次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ 50 - 300 km 程度、幅 20 - 50 km 程度の強い降水をともなう雨域の事だそうで、これが局地的な集中豪雨などの原因になっているとの事です

家が流されている様子や川が増水している画像をみていると

2017年7月の西日本豪雨を思い出します

少しでも役にたてばと道の駅まで買い物に行ったり、寄付金のボックスに寄付をしたりもしました

でも、時間が経てばその時だけで終わってしまう事も多いのではないのでしょうか

復興したその場所に何度も、何度も訪れたい  
そんな寄付の仕方はないでしょうか？

そこで思いついたのが

「1口県民制度」です

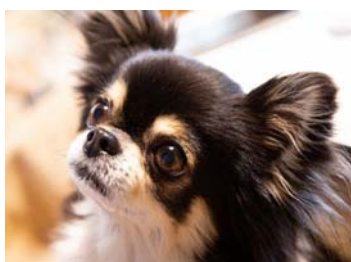
お城の復旧などで1口城主という言葉を目にしたり、耳にしたりしますが、  
一口県民として一枚の絵を募集し、1枚のタイルにして復興の1枚にします

そこで

貴方の家には大切な1枚はありませんか

例えばお子さんから貰ったパパ・ママの絵

お孫さんから貰ったじーじ・ばーばの絵



あるいは大切な家族だった亡くなったペットの写真  
等々

そんな大切な1枚が、もし福岡の街にあったとしたら...

災害で道の駅が浸水したり、崩壊したらしいけど、何かできないかしら・・・

災害時だけでなく日常の生活の中でも、  
孫が良く遊ぶ近くの公園の遊具が古くなっているって聞いたけど、新しいものにできないかしら・・・

ここに歩道橋があれば便利だし、危なくないのに・・・

新しい橋ができるらしいけど、出来たら便利になるわ。何か記念に寄付できないかしら・・・

そんな時、貴方の1枚がその力になるとしたら。

寄付をすることは多いですが、それっきりになる事も多いです。

貴方の大切な1枚が

タイルになって飾られているとしたら...

何度となくそして何年も

その場を訪ねる事になるのではないのでしょうか

絵を複写するタイルには

プリントタイル（絵柄をプリントして、表面に特殊なコーティングを施したタイル）や陶板タイル(焼き物)があり、屋外、屋内等用途によって使い分けが出来、値段もそれぞれ異なります

プリントタイル



陶板タイル



復興したその場所に何度も、何度も訪れたい  
毎日通る道に、自分の暮らす街に自分だけの空間がある  
そんな寄付の仕方はいかがですか？

